

令和元年度第2回豊明市地域福祉計画推進委員会

豊明市いのち支える自殺対策推進本部 議事録

日 時：令和元年9月30日（月）10：00～12：00

場 所：豊明市役所 東館1階 会議室5

1 あいさつ

委員長よりあいさつ。前回会議の内容を確認。

2 議事

(1) 豊明市第2次地域福祉計画・第4次地域福祉活動計画策定進捗状況について

事務局より説明。

(2) 豊明市地域福祉計画の平成30年度実績について

事務局より説明。

○ 質疑応答

(委員)

事業の目標値の設定が困難という回答について、内容によっては例えば、発行部数や発行回数などは書ける場合もあると思いました。

評価が高いものは必要性が高いという認識だと思いますが、評価は低い新しい世代にふさわしい事業というのは、展開がしづらいという印象を受けました。

社会福祉協議会の広報紙等を通じた地域福祉の啓発とありますが、今は福祉の担い手不足が深刻であります。これらの計画を実施していくためには、行政だけではできません。その意味では地域福祉計画と地域福祉活動計画が一緒に進んでいくということは意味があることだと思います。社会福祉協議会には、高校生などの若い世代が福祉に関心を持つような取り組みについて検討していただければと思います。

(事務局)

以上の要望については、今後検討してまいります。

(3) 地域福祉に関するアンケート調査結果について

事務局より説明。

○ 質疑応答

(委員)

アンケートの回答結果が高齢者など多数意見に偏っていると感じました。声を上げる機会が少ない若い世代など少数意見も吸い上げて、それが反映されるような計画になると良いと思います。

(事務局)

今回の計画の策定にあたっては、昨年度子ども子育ての計画策定のために実施しましたアンケート調査や他計画等のデータも参考にしながら、策定に向けて整えていきたいと思っています。

(委員)

市民向けのアンケート調査について全体的な集計結果が出ているのですが、中学校区別にクロス集計もあり、計画にはどう反映し活用されるのでしょうか。

(事務局)

資料に地域でどのような活動が「独自活動として展開されているのか」というのがありますが、特色のある活動なども確認しながら、今後の策定に活かしていきたいです。できれば、「この地域では特にこれを」という重点的なものも盛り込んでいくことができると考えています。

(委員)

団体ヒアリング調査についてですが、「今後、貴団体が活動を進める中で、連携をとりたい組織・団体がありますか」とありますが、事務局で今後、団体間でのアテンドをしていただけるのですか。

(事務局)

今後、計画の中に連携の強化といったことを盛り込みたいという意の質問でしたので、今回のご意見を受けて、計画の中に盛り込み、施策や事業として展開していきたいと考えています。

(委員)

直接アテンドしてもらえれば繋がっていくのではないのでしょうか。

(事務局)

もし、個別に問い合わせいただきましたら、ご案内することもできますので、担当課までお問合せ下さい。

(委員)

ボランティアに参加したい気持ちはあるのですが、どう参加してよいのか

が分かりません。例えば独居高齢者や障がい者の方など、関われることをしてあげたいと思うのですが、取り組み方が分かりません。そういう方は多いのではと思います。

(事務局)

今までの計画の実績を見ますと、いろいろな人の巻き込み方が縦割りだったり、方策が広げられていない、今の時代にマッチしていないという印象を受けました。そのあたりの方策を考えていくのが今後の課題になってくると思います。

(4) 豊明市第2次地域福祉計画・第4次地域福祉活動計画骨子(案)について

事務局より説明。

(委員)

「生活保護世帯数・受給者数の推移」ですが、これは市民の生活実態や市の福祉の状況を知るうえで非常に重要な資料だと思うので、その他の欄でよいのかを検討していただければと思います。

(事務局)

このまとめ方については、その他という括りではなく、項目ごとに分けて工夫をしていきたいと思っています。

(委員)

自殺者数の推移について、平成30年は例年に比べて自殺者数が増えていますがこれは何か原因があるのですか。

(事務局)

自殺対策計画の策定の際にも資料等を出していますが、ばらつきがその年ごとにあります。特別にこの時代に何かがあったということではありません。

(事務局)

基本理念については、「みんなで」というキーワードを活かしつつ分かりやすい基本理念を作っていきたいと思っています。

(事務局)

豊明市における成年後見制度利用促進計画について、平成28年度に成年後見制度利用促進法が成立し、市町村においても成年後見制度促進にかかる基本的な計画を定めることが努力義務になりました。瀬戸市から豊明市までの尾張東部圏域では尾張東部成年後見センターを運営しており、昨年度、広

域での利用促進計画を策定させていただいています。それにも記載はしているのですが、これは広域計画ですので、さらに詳細を地域に合わせた市計画として、今回は地域福祉計画の中の1章に成年後見に関する内容を盛り込んでいきたいと考えています。

(事務局 社会福祉協議会)

地域福祉活動計画の計画策定スケジュール等については、地域福祉計画と同じ計画期間を予定しており、活動内容も一体的に作成すべきだと考えているため、今後は本委員会でもって策定を実施していきたいと考えています。

○それぞれの案について承認

3 その他

次回は12月中旬に開催予定。

◇ 備考（その他の意見）

- ・ 独居高齢者に対して、見守り強化等の取り組みを加えてほしい。
- ・ 報告書は集計結果以外に、日常生活について地域での生活や地域での助け合いについて等カテゴリー毎に課題や方針が整理してあると計画に反映しやすいと思いました。また、集計結果の分析については、豊明市の地域の特性や現状を踏まえたものがあると、市の独自性がわかりやすいと思いました。
- ・ 団体ヒアリング調査は、結果から多機関連携を既に行っている現状があるかもしれませんが、ニーズのある団体同士がマッチングできるとよいと思いました。
- ・ アンケートの調査結果に「となり近所の人にしてほしい手助けや協力」では「声かけや安否確認をする」が24.5%と意識が高いことから、災害時避難行動要支援者登録制度の推進において、要支援者名簿の対象として、難病患者、小児慢性特定疾患児童も含まれることがわかるよう周知勧奨していただくとよいと思いました。対象者によっては、避難支援としての個別支援計画が重要になると思います。
- ・ 30年度実績の中の相談体制において、多問題家庭が多く横断的な情報提供や、わかりやすい窓口が必要であるとの意見がありましたが、必要な機関につなぐ仕組み作りや、一元的に管理できる（高齢者虐待、DV、ひきこもり、児童虐待など）とよいと思いました。